

## ごあいさつ

皆さま方には、平素より筑邦銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございました。

このたび、当行の平成22年度中間期の業績と現況などについてご説明した「平成22年度中間期ディスクロージャー誌」を作成いたしました。本誌を通じて、私どもに対するご理解をより深めていただければ幸いです。

当行は「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」を目指して、平成21年4月より「中期経営計画2009」に取り組んでおります。

本計画では、お客さまのご相談やご要望等に、従来以上に的確に対応し期待にお応えできる人材の育成に努めているほか、店舗・店舗外ATMの新設・見直しやインターネットバンキングの時間延長など、お客さまの利便性向上のための諸施策を実施いたしております。

昨年7月にはお客さまの多様化するビジネスニーズに、迅速かつ的確に対応できるよう本部機構の見直しを実施しました。この見直しによりお客さまの課題解決を推進する部署としてソリューション事業室を「ソリューション事業部」に昇格させたほか、地域の国際化の進展に対応するため証券国際部内に「国際室」を、お客さまの事業再生・経営改善のお手伝いを強化するため融資部内に「経営サポート室」をそれぞれ新設いたしております。

また、昨年9月には日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給（新貸出制度）」の趣旨に基づき、地元の成長分野に向けた貸出をより一層強化し地域経済の発展に貢献するために、総額100億円の「ちくぎん成長基盤支援ファンド」を創設いたしました。

さらに、昨年12月には新たにセブン銀行とATM利用提携を実施いたしました。これにより、当行のキャッシュカードをお持ちのお客さまは、全国のセブンイレブン等の店舗に設置されたセブン銀行の1万5千台を超えるATMで、入出金などのサービスがご利用いただけるようになり、カードの利便性が飛躍的に向上いたしました。

3か年の中期経営計画も残すところ1年余となりましたが、当行は本計画の達成に全力で取り組み、地域の銀行として皆さまのお役に立ち、さらに信頼される銀行となることを目指してまいります。

引き続き一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成23年1月



頭取 佐藤 清一郎